

学習リモコンの不具合と対処方法

● 不具合の内容

特定のリモコンボタンの学習が正常に行われません。

学習は一見正常に終了しますが、学習リモコンのボタンを押してもテレビ等が反応しません。

● 該当する機器

96 操作ワンスイッチ学習リモコン

RM-PLZ530 使用の機種(2011年2月～2017年8月)

48 操作ワンスイッチ学習リモコン

RM-PLZ330 使用の機種(2010年11月～2017年8月)

50/100 操作ワンスイッチ学習リモコン

RM-PLZ430 使用の現行機種(2017年8月～)

● 発生するリモコンボタン [発生を確認したもの]

シャープ製テレビ AQUOS の

「選局∧」ボタン(リモコン番号2のとき)

「下(▼)」ボタン(リモコン番号1、2とも)

「青」、「赤」ボタン(リモコン番号1のとき)

● 原因

改造に使用した以下のソニー製リモコンに不具合があります

RM-PLZ530、RM-PLZ430、RM-PLZ330

● 対処方法

学習のとき、テレビ等の付属リモコンのボタンは、ワンスイッチ学習リモコンがピーと鳴るまで押したままにするのが基本ですが、うまく学習できない場合は、テレビ付属リモコンのボタンを、チャンネルなどを変えるときと同じくらいの長さで(短く)押ししてください。

● 学習操作の手順

例:「TV」グループの「1」ボタンにテレビの「選局∧」ボタンを学習する場合

1. 学習リモコンとテレビ付属のリモコンを向かい合わせに置きます。
2. 学習リモコンのSETボタンを、SETランプが点灯するまで(2秒以上)押したままにします。
3. 学習リモコンの「TV」ボタンを押します。
4. 学習リモコンの「1」ボタンを押します。
5. A. 通常の操作
テレビ付属のリモコンの「選局∧」ボタンを、学習リモコンがピーと鳴るまで押したままにします。
B. 不具合に対処する操作
テレビ付属のリモコンの「選局∧」ボタンを、チャンネルを変える時と同じくらいの時間押します。
6. 続けて「2」ボタンの学習を行う場合は4に戻って「2」ボタンを押します。
終了する場合はSETボタンを押します。

● 注意点

上記5-Bの方法で学習するとボタンを押した長さも記憶され、使用時にボタンを押す長さを変えても、つねに学習時の長さでリモコン信号が送信されます。

そのため、学習時に長めに押されていると、使用時にチャンネルや音量が2段階以上変わってしまうことがあります。

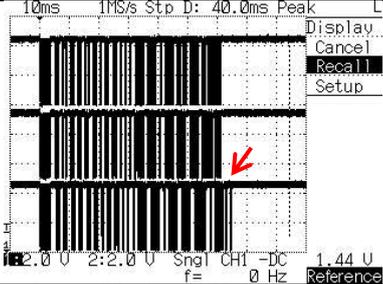
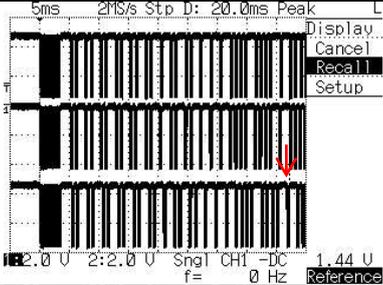
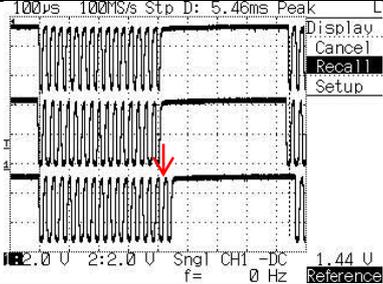
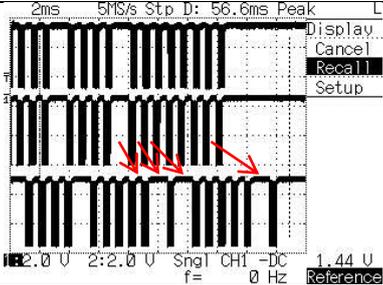
逆に学習時にボタンを押す長さが短すぎると、テレビなどが反応しない場合があります。

テレビなどの実際の反応を見て、学習時にボタンを押す長さの調整が必要です。



● 不具合発生時のリモコン信号の観察(ご参考)

上:AQUOS 純正リモコン
 中:対処方法による学習(正常)
 下:通常の方法での学習(異常)

<p>1. リモコン信号全体の比較 不具合発生時は信号の長さが正常時より長くなります</p>	
<p>2. 先頭部の比較 各ビットの1/0(信号の長/短)は同じですが、徐々にずれてきます</p>	
<p>3. 1ビットの拡大比較 1ビットの波形が1つ多くなっています 上記2のずれはこれにより起こっています ただし、この程度であれば機器(テレビ)側で問題なく対応可能と思われ</p>	
<p>4. 後端部の比較 4カ所でビットが0から1または1から0へ化けています</p>	
<p>5. 誤認識の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の化け方は安定しており、同じ信号に対し常に同じ化け方をします ・ 全体で48ビットある信号のうち先頭から48ビットまでは正常で、最後の8ビットのみ化けます ・ 最後の8ビットのうち常に4ビットが化けます ・ 最後の8ビットの中で化けるビットの位置は一定ではなく法則は不明です <p style="text-align: center;">[16進表記]</p> <p>選局A (リモコン番号2) 正: 555AF1188880 誤: 555AF1188861</p> <p>▽ (リモコン番号2) 正: 555AF1180484 誤: 555AF11804ED</p> <p>▽ (リモコン番号1) 正: 555AF1480481 誤: 555AF14804BD</p> <p>青 (リモコン番号1) 正: 555AF1480148 誤: 555AF14801B8</p> <p>赤 (リモコン番号1) 正: 555AF1488140 誤: 555AF1488138</p>	